



2019年11月12日

各位

会社名 神田通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神部雅人
 (JASDAQ・コード番号: 1992)
 問合せ先 執行役員管理本部長 田辺正行
 電話番号 (03) 3252-7731

2020年3月期第2四半期累計期間の
 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期業績予想と実績との差異
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	2,900	△60	△35	△20	△8円32銭
実績 (B)	2,589	△12	21	10	4円38銭
増減額 (B-A)	△311	48	56	30	
増減率 (%)	△10.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,907	△38	3	△10	△4円51銭

(注) 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 業績予想との差異理由

売上高につきましては、主力事業である情報通信事業では、ネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの販売及びハード、ソフトのサポートサービスが計画を下回り、照明制御事業では、照明制御システムの設計・販売・施工を軸としたビジネスが、ほぼ計画どおりに推移いたしました。また、不動産賃貸事業は、ほぼ計画どおりに推移し、前回予想を311百万円下回る結果となりました。

利益面につきましては、照明制御事業の黒字化と経費の見直し等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、現時点での修正はありません。

以上